

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成22年 9月調査分）

（財）宮崎県環境整備公社では、エコクリーンプラザみやざきの安心・安全な施設運営が行われている事を確認するために、公害防止協定書に基づき、モニタリング調査（排出源等モニタリング調査、環境モニタリング調査）を定期的に行っております。平成22年9月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成22年10月29日
宮崎県環境整備公社

○排出源等モニタリング — 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成22年9月24日	同左	平成22年9月27日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	宮崎県環境科学協会		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	65	67	41	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	0	0	0	30 ppm以下
06. ダイオキシシン類	ng-TEQ/m ³ N	分析中	分析中	分析中	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

調査結果の評価

各調査項目ともこれまでと大きな変化は無く、全ての項目で評価基準を下まわりました。



焼却溶融施設

○排出源等モニタリング — 防災調整池排水（敷地境界）調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成22年9月27日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8以上 8.6以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.7	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質量(SS)	mg/L	9	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	75	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.1	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.73	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導率(EC)	mS/m	37	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	91	(参考値 cm)
09. 溶存酸素	mg/L	7.0	(参考値 mg/L)
10. 塩化物イオン	mg/L	7.1	(参考値 mg/L)
11~30. 鉱物油等(※3)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
31~47. PCB等(※4)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
48. ダイオキシシン類	pg-TEQ/L	分析中	10 pg-TEQ/L以下



防災調整池排水（敷地境界）

調査結果の評価

今回、10項目の調査を実施しました。
この結果、全ての項目で評価基準を下まわりました。

○環境モニタリング — 公共用水域（周辺河川）の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成22年9月27日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	7.7	7.8	6.5以上 8.5以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	1.1	3 mg/L以下 (だら池は2mg/L)	
03. 浮遊物質量(SS)	mg/L	3	2	25 mg/L以下	
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.0	7.8	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg/L)	
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	24000	110000	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)	
06. 化学的酸素要求量	mg/L	5.1	3.2	(参考値 mg/L)	
07. 全窒素	mg/L	0.64	2.7	(参考値 mg/L)	
08. 電気伝導率(EC)	mS/m	33	22	(参考値 mS/m)	
09. 透視度	cm	100以上	100以上	(参考値 cm)	
10. 塩化物イオン	mg/L	10	9.0	(参考値 mg/L)	
11~19. カドミウム等(※1)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
20~39. PCB等(※2)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
40. ダイオキシシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

調査結果の評価

今回は、10項目の調査を実施しました。
この結果、各調査地点で大腸菌群数が、評価基準値を上まわりました。
大腸菌群数については、水温の上昇により、大腸菌の増殖が活発化しており、このため、評価基準より高くなっています。



上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水

○排出源等モニタリング — 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水		評価基準
試料採取日	平成22年9月27日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	8.0	(参考値)	
02. 電気伝導率(EC)	mS/m	120	(参考値 mS/m)
03. 塩化物イオン	mg/L	11	(参考値 mg/L)
04. カドミウム	mg/L		0.01 mg/L
05. 全シアン	mg/L		検出されないこと
06. 鉛	mg/L		0.01 mg/L
07. 六価クロム	mg/L	測定月でない	0.05 mg/L
08. 砒素	mg/L		0.01 mg/L
09. 総水銀	mg/L		0.0005 mg/L
10. アルキル水銀	mg/L		検出されないこと
11. 透視度	cm		(参考値 cm)
12~31. PCB等(※2)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
32. ダイオキシシン類	pg-TEQ/L	分析中	1 pg-TEQ/L以下



浸出水調整池地下水

調査結果の評価

今回は、3項目の調査を実施しました。
この結果、水質の異常を示す結果は出ていませんでした。

※1：検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目
※2：検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など20項目
※3：検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目
※4：検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど17項目

(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。